

残留塩素濃度が目標値から外れている場合は、速やかに対応します。

3 測定結果の評価

記載例

目標：浴槽水中の残留塩素濃度を 0.4~1.0mg/L に保つ。

測定結果 (mg/L)	判定	対応								
0.4 より低い	×	<p>① 浴槽に直接、薬剤（6%塩素濃度）を流入口付近で、投入する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>浴槽名</th> <th>ペットボトルのキャップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大浴槽</td> <td>2杯</td> </tr> <tr> <td>ジャグジー風呂</td> <td>1杯</td> </tr> <tr> <td>水風呂</td> <td>0.5杯</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ペットボトルのキャップ 1杯 5mL</p> <p>② 浴槽を攪拌し、マニュアルに定めた場所で、再度残留塩素濃度を測定し、濃度が0.4~1.0mg/Lであることを確認する。 濃度が0.4~1.0mg/Lになるまで①、②を繰り返す。</p> <p>③ 記録簿に薬剤を追加投入したことと、投入前と後のそれぞれの測定結果を記入する。</p>	浴槽名	ペットボトルのキャップ	大浴槽	2杯	ジャグジー風呂	1杯	水風呂	0.5杯
浴槽名	ペットボトルのキャップ									
大浴槽	2杯									
ジャグジー風呂	1杯									
水風呂	0.5杯									
0.4~1.0	○	① 記録簿に測定結果を記入する。								
1.0 より高い	×	<p>① 記録簿に測定結果を記入する。</p> <p>② 支配人（支配人が不在の場合は担当：○○）に、口頭で報告する。</p> <p>③ 1.0mg/Lより高い濃度が続く場合は、塩素系薬剤の投入量の見直しや、塩素注入器の動作確認を行う。</p>								